

初等教科教育法(家庭)

1. 担当教員

名前: 佐藤 郷美 (さとうさとみ)、宮下 ひろみ (みやしたひろみ)

2. 授業の目的

(1) 授業の目的

小学校家庭科の目標を踏まえ、学習指導に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を理解し、家庭科の授業づくりに関する実践的指導力の向上を目指すものとする。

(2) 到達目標

- ① 小学校家庭科の特質を踏まえ、教育内容について理解する。
- ② 家庭科の授業に関する教材解釈、教材研究を理解する。
- ③ 家庭科の授業展開に関する指導技術を身に付ける。(指導案、模擬授業等)

(3) ディプロマポリシーとの関連

人間発達学科のディプロマポリシー「(1)演習(ゼミ)、卒業研究だけでなく、全課程を通して、人間科学としての教育学研究の基礎を身につけること。」ならびに「(2)保育士、幼稚園教諭、小学校教諭の取得を目指す学生は、専門教育課程を通し、資格取得にとどまらず、よりよい職業人としての基礎を身につけること。」に基づき、特に小学校家庭科における教育の知識と実践的指導力獲得を目指す科目である。

3. 授業の概要

この授業では、小学校家庭科の学習が子どもの成長に対し寄与できることが何かを追究する。また、子どもの生活実態や生活課題に根ざした教材の開発や学習指導の在り方の検討とともに、学習指導計画を立てる際に必要な基礎的・基本的な内容の理解、技術の習得、学習指導案の作成を目指す。受講生が小学校家庭科の学習指導場面を想起できるように、教育実践事例、教育研究の蓄積等から授業を進める。

4. 授業計画 ※ 授業の展開によっては、変更の可能性があります。変更の場合には随時お知らせします。

回	テーマ・内容	予習・復習	備考
1	オリエンテーション…家庭科の授業のはじめに	学習指導要領解説持参	
2	「A 家庭生活と家族」「C 快適なすまい」に関する指導	教科書 p4~5, p23~29, p52~57, p76~85	土曜日集中講義
3	家庭科の授業づくり(指導案)	学習指導要領解説持参	
4	「C 快適な衣服」に関する指導	教科書 p16~22, p30~37	土曜日集中講義
5	簡単な小物づくり		
6	「D 身近な消費生活と環境」に関する指導	教科書 p48~51, p60, 61, p102~106	土曜日集中講義
7			
8			
9			
10	試験 1 (前半講義まとめ含む)		

11	〈学外授業〉 現場の授業参観等		日程は後日決定
12			
13	食に関する学習1 「B 日常の食事と調理の基礎」	教科書 p 6 ~ 15, p29, p38~47, p94 ~99, p106	
14	食に関する学習2 手順と衛生と安全を考えた調理の指導	家族の食事（サンドイ ッチ）の指導案	調理実習：エプロン、 三角巾、上履き
15	食に関する学習3 栄養と食品の組み合わせを考えた調理の指導	ゆでる、炒める、焼く いろいろなおかず	調理実習：エプロン、 三角巾、上履き
	試験2（主に食に関する学修の内容）		* 日程変更もある。

予習・復習

教科書を使った予習が必要。授業前に必ず該当する教科書のページに目を通して、疑問点をまとめてくること。復習では、その日のうちにノートをまとめ、疑問点を調べて加筆しておく。

目安の時間として、授業 1 コマにつき、予習 120 分、復習 120 分が必要。

* 1 2 月以降学外授業として現場への授業見学を予定している。日程は後日調整して知らせる。

* 授業の展開によっては、変更の可能性があります。変更の場合には随時お知らせします。

5. 評価方法

- (1) 実習(40%)…講義内容は実習を含むため、出席重視。
- (2) 受講態度(20%)
- (3) 試験, 課題レポート(40%)

6. 履修上の注意

○ 1 か月に 1 回, 合計 3 回ほど土曜日の集中講義となるが, 理解し受講願いたい。

どうしても授業に参加できない場合は早めに申し出ること。

* I 校時～III校時 9:00～14:30